

武蔵野市第四期基本構想・長期計画策定委員会（第15回）会議要録

日 時 平成16年4月21日（水） 午後7時00分～9時00分
場 所 武蔵野公会堂第1・2会議室
出席者 東原委員長・小木副委員長・鵜川委員・増山委員
村田委員・古田土委員・永並委員
企画政策室長・企画調整課長・財政課長ほか

1．開会

資料確認

2．議事

（1）安全・安心タウンウォッチング報告書（概要）及びサラリーマン会議報告書について説明

【委員長】提案の方向は、全部もっともだ。ただ、具体的な施策にするとなると、かなり困難なものも含まれている。

【委員】ざっと見たところ、それほど難しくないことも含まれている。

【委員】できないことを織り込むのはどうかと思うが、できるだけ積極的に取りこんでいったらどうかと思う。

（2）第四期長期計画計画案骨子（案）について

【委員長】第2章は、まちづくりの目標とし、キャッチフレーズ的なものを入れることにする。また、第1章4「計画の基本的考え方」は、前の基本構想にはない部分であり、他章等に振り分ける作業が必要だ。

【委員】章立ては、第1章1「市勢と将来展望」、2「これまでの成果」、3「まちづくりの新たな課題」となる。

【委員長】第1章4「計画の基本的考え方」のうち、計画策定の根本的な理念にする部分については、第1章3「まちづくりの新たな課題」に、客観的に誰が見てもそうだという部分は第1章1「市勢と将来展望」に振り分ける。

【事務局】第1章1「市勢と将来展望」についてだが、「市勢と将来展望」における市勢とは、武蔵野市の現状のイメージと考えている。

【委員長】では、我々が分析した認識も第1章3「まちづくりの新たな課題」に入れ、現状、新たな課題という書き方をする。

【事務局】まちづくりの目標と優先事業については、今回の基本構想の大きな柱になると考えている。

【委員長】まちづくりの目標はキャッチフレーズ的な面もあり、おそらく一番難しい。

(3) 今後の日程等について

5月17日 5月26日 5月31日に策定委員会を開催。

なお、5月26日に市職員からの意見書に係るヒアリングを行うこととなった。